

留学先：建陽大学（韓国）

留学期間：2024年8月～2025年1月

私は、韓国中西部のやや南に位置する忠清南道論山市にある建陽大学に5ヶ月間交換留学しました。韓国に詳しい人は論山市と聞くと苺が有名なことや陸軍の訓練所がある地域かな？と想像する方が多いと思いますが、実際に大学内や大学外で軍服を着た韓国人の方を何度も目にし、日本ではない光景に言葉では表せない感情を抱いたことを今でも覚えています。論山市は韓国の有名な観光地ソウルや釜山とは違い田舎にある大学ではありますが、大学周辺には美味しいご飯屋さんや可愛いカフェが揃っていて休日はカフェに勉強しに行ったり友達とご飯を食べに行ったりし、充実した日々を過ごすことができます。



初めになぜ私が韓国に留学に行こうと決めたのか、その理由は大きく2つあります。

まず一つ目ですが、私にとって留学は、単に韓国語を勉強して理解したかったからということだけではなく、韓国語の勉強を開始してから言語を学ぶ楽しさを初めて感じることで、この努力を無駄にしたくないという思いから

将来的に韓国に関連した韓国語を使える職に就くことを目標のゴールとして考えるようになりました。しかし、普段学校で受ける週一回の韓国語の講義だけでは大きな伸びは見られず、同時に独学でも韓国語の勉強をはじめました。独学で学ぶということは、わからない問題に直面した時自分で解決しないといけないという大きな課題があり独学で学ぶことの限界も感じていました。そこで

高校生の頃から「どこかの国に留学に行ってみたい！」という夢を持っていた私は、現地韓国で韓国語を学び、学んだことをそのまま実践できる最高の環境が用意された留学に行く決断をしました。

二つ目は、失敗することを恐れ安全な道ばかり選択してきた過去から脱却したかったからです。私には、二つ上の姉がいます。姉は長女ということもあり、何事も最初に挑戦しなければなりません。そのため必死に努力しても時には思い通りの結果を残すことができず苦勞してきた姉の姿を見ているからこそ、私は挑戦することを恐れ、姉の足跡を辿るように安全な道ばかり

を歩んできました。その影響もあり姉とはよく比べられ、そんな自分を情けなく感じ、何か大きな挑戦をして達成することで成長した姿を見せたかったということも留学に行こうと決断した理由の一つです。



次に、留学生活での思い出です。建陽大学の語学堂ではベトナム人の割合が8割程度を占めていることから、ベトナムにいてのではないかと思ってしまうぐらいベトナム人の学生が多いのが現状です。日本人の学生は私を含め2人しかいなかったためとても不安が大きかったのですが、親切な先生方のサポートのもと楽しく学校生活を送ることができました。

韓国語の授業はレベル別（初級・中級・高級）に分かれ授業が行われるのですが、私の場合日本で韓国語を勉強していたこともあり中級からのスタートになりました。実際に授業を受講してみると中級の内容はとても難しく、最初は授業についていけるか心配でしたが、誰よりも必死に復習と予習をした結果クラスで成績一位を取ることができ「成績優秀賞」をいただくことができました。

言語はやはりどの程度自分の実力が伸びているのか、なかなか目に見えないため「この方法で自分のためになっているのか。」「まだまだ勉強が足りていないのではないか。」と留学期間が短いからこそ自問自答をする日々もありましたが、「成績優秀賞」という目に見える形で賞をいただくと、自分が考えていたよりも韓国語の実力は確実に伸びていたのだと改めて感じることができました。そして、何よりも一緒に目標に向かって励まし合う大切な友達ができることが一番の思い出です。お互い違う国で生まれ育ち、違う言語を話し文化も異なる人同士が友達になる機会はそんなに多くありません。この短い期間で日本に帰国してからも会いに行きたい、ずっと交流を深めていきたいと思う友達に出会えたことが私の大切な宝物になりました。このような体験をさせてくれた親には本当に感謝しています。



最後に留学に行った方の経験談を聞く機会が何度かあったと思いますが、「留学に行って後悔した。」と話す方をみなさんは見たり聞いたりしたことがありますか？もちろん留学に行くことは大変なこともあり、物事がうまくいかなくて落ち込んでしまう日々もありました。しかし、そんなことも忘れてしまうぐらいの出会いと日常が待っています。私も留学に行ったことを一度も後悔していません。そして、これから人生を歩み、振り返った時、留学での経験は大きな糧になると思います。留学に行こうか悩んでいる方は、是非人生の大きな経験の一つとして挑戦してみることを私はおすすめしたいです。

また、留学の件に関して少しでも気になることがある方は一度国際課に足を運んでみてください。国際課の先生方は親身に相談に乗ってくれ、気になることや悩んでいることを聞いてくださいます。私も何度も国際課の阿部さんにはお世話になり、感謝の気持ちでいっぱいです。この私の留学体験談が少しでも皆さんの力になれば嬉しいです。

